

おおむた 市議会だより

第189号

平成26年度 第1回定例会

平成26年(2014年)8月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成21年5月以降

【主な記事】

- 平成26年度議会報告会/ぎかいの話題(2・3ページ)
- 追跡!!学校のエアコン/ぎかいの話題(3ページ)
- 巨木は語る/おおむた自慢(12ページ)



吉野小学校 緑のカーテン

も
く
じ

■ぎかいの話題……………	2	■一般質問(7人)ほか……………	9
平成26年度議会報告会		山口雅弘議員、塚本二作議員、光田茂議員、	
追跡!!学校のエアコン		田中正繁議員、森田義孝議員、	
■本会議運営のあらましほか……………	4	今村智津子議員、吉田康孝議員	
第1回定例会、議案等の審議結果		トピックス、議会日誌、行政視察受入、	
■代表質問(4人)……………	5	インフォメーション	
平嶋慶二議員、徳永春男議員、北岡あや議員、塩塚敏郎議員		■連載 おおむた自慢ほか……………	12
		おおむた自慢「巨木は語る」、編集後記	



平成26年度 議会報告会を開催

■開かれた議会を目指します

大牟田市議会基本条例の施行後3年半が経過し、議会報告会をはじめとする市議会の年間活動サイクルも、少しずつ定着してまいりました。

議会改革度調査においても、早稲田大学マニフェスト研究所が発表した2013年ランキングによると、調査に回答した全国の地方議会1,444議会中40位にランクされ、福岡県内ではトップの順位と評価されるなど、着実に前進しております。

す。

今後も、市民に開かれた議会、市民の参加を進める議会を目指し、議会の活性化を図り、豊かなまちづくりの実現にまい進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

■今年で4回目となる議会報告会

大牟田市議会では、議員が3つの班に分かれ、役割を分担して、市民の皆様に直接報告し、ご意見を賜る貴重な場である議会報告会

を開催します。

具体的には下の表の通り、8月に市内9会場で開催します。今回は午前10時からと午後2時からの開催を、それぞれ1カ所ずつ設定しています。

また、昨年試行的に総合福祉センターでの報告会において取り入れた手話通訳と要約筆記を、今年はさらに吉野地区公民館でも取り入れて開催する予定です。

お近くの会場にぜひお越しください。お待ちしております。



(平成25年度議会報告会の様子 総合福祉センター(写真左)、大正小学校(同右))

開催日程・会場

開催日	時 間	会 場	主 な 対 象 校 区
8月1日(金)	午後7時～8時30分	勝立地区公民館 研修室	天の原、玉川
8月4日(月)	午後7時～8時30分	総合福祉センター 大会議室	白川、平原
8月5日(火)	午後7時～8時30分	三池地区公民館 研修室A	高取、三池、羽山台
8月7日(木)	午後7時～8時30分	労働福祉会館 中ホール	上官、大牟田
8月20日(水)	午前10時～11時30分	手鎌地区公民館 研修室A	明治、手鎌
8月22日(金)	午後7時～8時30分	駛馬地区公民館 視聴覚室	駛馬南、駛馬北
8月26日(火)	午後7時～8時30分	大正小学校体育館 ミーティングルーム1	大正、中友
8月28日(木)	午後7時～8時30分	三川地区公民館 研修室A B	みなと、天領
8月30日(土)	午後2時～3時30分	吉野地区公民館 研修室	銀水、上内、吉野、倉永

※各会場とも駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関、乗り合い、バイク、自転車、徒歩などでお越しください。
※総合福祉センターと吉野地区公民館では、手話通訳と要約筆記を行います。



**ことしも暑い夏がやってきました。
皆様のまちづくりへの熱いご意見をお聞かせください。**

2部構成で報告します

第1部

第1部では、昨年の報告会でご意見をいただいた「市立小中学校普通教室へのエアコン設置」に関する議会としての取り組みについて報告します。

具体的には、

- ①「市立小中学校普通教室へのエアコン設置に関する決議」可決までの経緯について
- ②議会決議可決後の経過についてなどを報告する予定です。

報告します。

具体的には、

- ①世界遺産候補の本市構成資産について
- ②三川坑跡の保存・活用に関する基本計画について
- ③三川坑跡の保存・活用に関して議会が行った決議について
- ④基本計画が決定されるまでのスケジュールについて
- ⑤（仮称）第5次総合計画の策定や位置づけ等について
- ⑥市民意見の反映及び市議会の関与などについて

などを報告・説明する予定です。

第2部

第2部では、三川坑跡の保存・活用に関する基本計画についてと（仮称）第5次総合計画について

追跡!! 学校のエアコン

平成26年度第1回定例会において、一般会計補正予算のうち、がんばる地域交付金（地域活性化・効果実感臨時交付金）充当事業として、特別支援学校の15教室に空調設備を設置するため、3,500万円が計上され、全会一致で可決しました。

市立小中学校への空調設備設置については、市議会において①平成26年度中にも整備計画を市民・議会に対し示すこと②有利な財源等の確保ができれば前倒しして整備すること③緊急性のある普通教室には有利な財源等の確保とは別に優先整備を検討することの決議をしており、今回、がんばる地域交付金の活用が可能になったことや、特別支援学校は体温調整のうまくいかない児童生徒等が在籍しているが、必要最小限の教室にし

か空調設備を設置していないことなどから、普通教室9室と特別教室6室の合計15教室に、設置されることとなりました。

所管する市民教育厚生委員会へは、今後の予定として6月中旬から9月中旬まで全校で普通教室気温調査を行い、結果を参考にしながら様々な観点からの検討を行い、26年度中に設置計画をまとめるという報告も行われました。

これらを受け、同委員会では有利な財源があった場合、すぐに設置できるよう設置計画の策定に向け早急に取り組まれないとの意見・要望を、定例会の委員長報告の中で述べました。

今後も、議会として3つの決議事項が実現されるよう注視して参ります。

委員間討議の近況

〔総務委員会〕

5月に行った行政視察について委員間討議をしました。今回視察した中で、兵庫県尼崎市の取り組みは、マイナスイメージの払拭や人口減等の課題改善のために、尼崎版シティプロモーションを策定されており、委員間でも関心が高く、熱い議論を交わしました。

中学校給食の進捗状況

〔市民教育厚生委員会〕

6月5日の委員会で、中学校給食の進捗状況についての報告を受けました。今後、中学校の給食受入施設を含め、給食センター新築工事等を本年12月までに完工させ、その後、27年1月から3月にかけて給食センターの試運転や厨房機器の操作研修等を行う予定となっています。

大牟田市備蓄基本方針

〔都市環境経済委員会〕

6月6日の委員会で、大牟田市備蓄基本方針について説明を受けました。この方針は、発災から3日間を想定した自助・共助・公助による備蓄のあり方を定めるもので、市は、市民等による備蓄意識の向上に向け、多様な手段を用いて普及啓発を推進します。

市民の声を施策に反映させる仕組みなどを視察

〔議会改革特別委員会〕

4月に福島県会津若松市議会と福島県郡山市議会を視察しました。

市民との意見交換会（本市では議会報告会）で出された意見等を政策に生かすサイクルが緻密につくり上げられており、本市議会でも参考となる取り組みでした。



本会議運営のあらまし

■特別支援学校へのエアコン設置についてなど、補正予算を可決

平成26年度第1回定例会は、6月9日に招集され、6月20日までの12日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、特別支援学校の普通教室等の空調設備設置等を含む1億5,732万円を追加する一般会計補正予算、条例議

案などの議案10件、人事議案、意見書案などの発議14件、請願1件、報告8件の計33件でした。

本会議では、まちづくり基本条例の策定等の諸課題について、各会派の代表質問4名を含む11名の議員が登壇し、市長、当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議3件を除いた議案、発議、

請願をそれぞれ承認、可決、採択して本会議を閉会しました。

人 事 議 案

(6月20日選出)

農業委員会委員
今村智津子(公)農業委員会委員
森 竜子(自)

平成26年度大牟田市議会 第1回定例会 議案等の審議結果一覧

議 案 等 名		会 派 等 名						賛 成 数	審 議 結 果
		自民	公明	護憲	共産	無 所 属	賛 成 数		
		8人	5人	5人	3人	猿渡軍紀議員 城後正徳議員 吉田康孝議員			
議 案	第1号	専決処分について（平成25年度大牟田市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	23	全会承認
	第2号	専決処分について（大牟田市市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	23	全会承認
	第3号	平成26年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第4号	平成26年度大牟田市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第5号	平成26年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第6号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第7号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	20	多数可決
	第8号	大牟田市観光物産館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第9号	大牟田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第10号	大牟田市非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
発 議	第1号	大牟田市農業委員会委員の推薦について	○	○*	○	○	○	22	全会可決
	第2号	大牟田市農業委員会委員の推薦について	○*	○	○	○	○	22	全会可決
	第3号	建設従事者のアスベスト被害者の早期救済解決を図る事等を求める意見書案	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第4号	総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書案	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第5号	地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書案	○	○	○	×	○	20	多数可決
	第6号	中小企業の事業環境の改善を求める意見書案	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第7号	鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書案	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第8号	特定秘密保護法の廃止を求める意見書案	×	×	○	○	×	8	少数否決
	第9号	労働者保護ルールの改悪に反対する意見書案	×	×	○	○	×	8	少数否決
	第10号	集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書案	×	×	○	○	×	8	少数否決
	第11号	教育予算の拡充を求める意見書案	×	○	○	○	×	13	多数可決
	第12号	福岡県として住宅リフォーム助成制度の創設を求める意見書案	○	○	○	○	○	23	全会可決
	第13号	福岡県に公契約条例の制定を求める意見書案	○	×	○	○	○	18	多数可決
	第14号	大学生向け給付型奨学金制度の創設を求める意見書案	×	○	○	○	○	15	多数可決
請 願	第1号	建設従事者のアスベスト被害者の早期救済解決を図る事等を求める意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	23	採択
報 告	第1号	平成25年度大牟田市一般会計予算繰越しに係る繰越しについて	採決はありません						
	第2号	平成25年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて							
	第3号	平成25年度大牟田市水道事業会計予算の繰越しについて							
	第4号	平成25年度大牟田市公共下水道事業会計予算の繰越しについて							
	第5号	大牟田市土地開発公社の事業報告について							
	第6号	公益財団法人大牟田市文化振興財団の事業報告について							
	第7号	公益財団法人大牟田市地域活性化センターの事業報告について							
	第8号	地方独立行政法人大牟田市立病院の事業計画について							

*発議第1号については今村智津子議員を除く。

*発議第2号については森竜子議員を除く。

会 派 名 称	所 属 議 員 (★は会派代表)
自由民主党議員団	光田 茂★、入江裕二郎、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清（議長）、森 竜子、山口雅弘
公明党議員団	大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子
社民・民主・護憲クラブ	松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝
日本共産党議員団	高口講治★、北岡あや、橋積和雄

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。そこで、一覧表については、起立した会派（または議員）を○と表記し、着席の会派（または議員）を×と表記していますが、×が反対とは限りません。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わりません。



第5次総合計画策定は多くの 市民・議員の意見を聞け



社民・民主・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

6月13日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 新総合計画と今後のまちづくり
 - (2) まちづくり基本条例策定に向けて
- 2 三池炭鉱関連跡地に対する市長の思いと今後の方向について
 - (1) 三川坑跡保存・活用計画の状況と今後
 - (2) メガソーラー設置にかかわる行政の役割
- 3 教育行政について
 - (1) 学校再編と地域、保護者への対応
 - (2) 本市の平和教育の取り組み
- 4 本市の環境政策について
 - (1) 低炭素社会実現に向けた現状と今後の課題
 - (2) 太陽光発電住宅の火災時における消火活動

市長の政治姿勢について

新総合計画と 今後のまちづくり

問 新聞等で2010年からの30年間で20代から30代までの女性の数が半分以上になる自治体が約半数あり、本市を含む896の自治体が消滅のおそれがあると報じている。

そうした中、今度の計画策定には、大牟田の命運がかかっており、策定にどう取り組んでいくのか。

答 人口減問題は認識している。今後、市民意識調査や市民ワークショップなど、多様な市民意見反映の機会の確保に努めながら、計画の策定を行っていきたい。

なろうとしており、旧三労組関係者は慰霊碑建立の寄付活動など議論されているようだ。今後、市では、慰霊碑建立の考えはあるか。

答 三川坑跡については、本年中に基本計画を策定する予定としており、その中で建立についてどうするか、関係団体に考え方の整理をお願いしている。



まちづくり基本条例 策定に向けて

問 上記条例の策定は、住民との意識にかい離がある場合、難しいと言われているので、情報共有、住民参加が原則と思うがどうか。

答 指摘どおり、行政が説明責任を果たすことで、市民と行政が情報の共有化を図り、まちづくりのパートナーとして協働することが原則と考える。

三池炭鉱関連跡地に対する市長の思いと今後の方向について

三川坑跡保存・ 活用計画の状況と今後

問 三川坑跡は、大牟田の資源に

メガソーラー設置に かかわる行政の役割

問 旧炭鉱住宅跡地におけるメガソーラーの建設は、国の見解により開発行為に該当しないと整理しているようだが、大規模な発電所の施設が、行政側のチェックもなく建設されることになり、近隣住民の間では様々なトラブルや、機能的な不備が発生した場合の対応など、建設に不安の声が出ている。行政としても何らかの対応が必要ではないか。

答 メガソーラーの建設については、事業者からの問い合わせに際して、都市計画法や景観条例等の関係法令とあわせ、その担当窓口

の紹介をし、地域住民との相互理解に努めて、事業が適法かつ円滑に進むよう助言している。

教育行政について

学校再編と地域、 保護者への対応

問 学校再編に伴う、通学路の安全対策について聞きたい。

答 再編協議会や学校、地域、関係機関等とも連携・協力を図りながら、子供たちの通学路の安全対策に努めたい。

本市の環境政策について

低炭素社会実現に向けた 現状と今後の課題

問 現在の本市の住宅用太陽光発電設置は、何基あるか。

答 32年度までに2,700基として数値目標を掲げ、その設置促進に取り組んでいる。

昨年度約500基が設置され、累計で約2,100基の設置となっている。

太陽光発電住宅の 火災時における消火活動

問 今後、太陽光発電住宅が増えることによる消火時の感電事故への消防・消防団の対応はどうか。

答 情報の共有と注意喚起を図り、消防職・団員の安全確保に努めたい。



新栄町駅周辺は大牟田の顔 市長は公約を果たすべき



自由民主党議員団
徳永 春男 議員

6月13日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 大牟田のまちづくりについて
 - (1) ハード面とソフト面からのまちづくり関連事業の方向性
 - (2) まちづくり事業に対する投資的政治判断の必要性
- 2 校区まちづくり協議会とまちづくり基本条例の関係について
 - (1) 校区まちづくり協議会の設立状況と加入率の推移
 - (2) まちづくり基本条例の目的とその必要性
- 3 慢性的な農業の担い手不足に伴う農業振興支援事業のあり方について
 - (1) 大牟田市の農業実態から見た農業振興の基礎づくり
- 4 第1次食育推進計画実施の検証を踏まえた第2次食育推進計画策定の取り組みについて
 - (1) 第1次食育推進計画実施状況から明らかになった問題点
 - (2) 庁内の関係部局、庁外の関係機関等との連携のあり方と具体的な実践連携の必要性

大牟田のまちづくりについて

まちづくり事業に対する 投資的政治判断の必要性

問 新栄町の状態を今後どのようにしていくのか。

答 新栄町の景観を変えるために再開発事業をやるということで、現在、地権者と準備を進めている。

市政公約に掲げている新栄町駅前地区市街地再開発事業の成立に全力を挙げて取り組むことが肝要と考えており、地元の皆様、関係団体とともに頑張りたい。



井筒屋跡

ハード面とソフト面からの まちづくり関連事業の方向性

問 人口減の歯どめとなる魅力あるまちづくりに対するハード事業とソフト事業の進捗とその効果は。

答 ハードとソフトの取り組みを進め、魅力あるまちにすることが、人口減少の抑制につながり、有明圏域定住自立圏などの広域行政の取り組みを進めることが交流人口の増加につながる。今後も、総合計画後期基本計画第2期実施計画の着実な推進と市政公約の実現に向け、全力を傾注していく。

校区まちづくり協議会と まちづくり基本条例の 関係について

校区まちづくり協議会の 設立状況と加入率の推移

問 校区まちづくり協議会加入率の推移と改善すべき問題点及び設立推進の進捗はどうか。

答 同協議会の形成に23年度から取り組み、3年間で15校区が設立され、27年度までに全校区の設立を目標としている。

25年度当初の町内公民館連絡協議会の加入率は38.6%。一方、自治会等を含めた校区まちづくり協議会の全体の加入率は46.1%。24年度までに設立された10校区の校区まちづくり協議会における1年後の加入率の推移は、微増校区が4校区、微減校区が6校区だった。

原因は、価値観の多様化、少子高齢化、役員の担い手不足、資金的な面などがある。校区まちづくり協議会の皆さんと原因を分析しながら、改善策を検討し、加入促進活動に取り組んでいく。

問 校区まちづくり協議会の充実が最優先と考えるが、まちづくり基本条例の目的とその必要性は。

答 いまだ協働のまちづくりの途上ではあるが、その取り組みは着実に浸透し、実践されつつある。このタイミングで協働のまちづくりの理念やルールを明確化し、市

民、行政、各関係団体等がその共有化を図ることを大きな契機とし、全校区での校区まちづくり協議会の設立や組織体制の強化等、さらなる推進を図ることが必要である。

慢性的な農業の担い手 不足に伴う農業振興支援 事業のあり方について

問 圃場整備可能地域に対する地元説明会の実施状況と今後の取り組みについて聞きたい。

答 昨年11月末までに、JA6支所の各集落代表者に対し、圃場整備の制度説明を行い、関心が高かった上内釈迦堂地区、櫛野地区で座談会を実施。今後、上内の岡地区、宮部地区の中山間地域に対して座談会を予定。地元協議を重ね、早期実現に向け努力している。

第1次食育推進計画実施 の検証を踏まえた第2次 食育推進計画策定の 取り組みについて

問 第1次食育推進計画の最終評価と明らかになった問題点は。

答 食事バランスガイドを参考に食生活を送っている市民の割合は低い。食育に関する実践活動を行っている市民をふやしていくことが大きな課題。

今後は、周知の取り組みに加え、実践重視の取り組みを強化していく。



厳しい市民の生活実態をつかんで、 市民生活・営業を守る施策を



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

6月13日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 集団的自衛権行使容認の考え方
 - (2) 消費税増税の本市への影響
 - (3) 医療・介護総合法案に対する考え方
- 2 本市の医療と介護について
 - (1) 本市の医療における課題
 - (2) 本市の介護における課題
 - (3) 医療と介護の連携における地域包括ケアシステムの到達点
 - (4) 医療・介護を生かしたまちづくり
- 3 子ども・子育て支援新制度について
 - (1) 本市に与える影響と本市の考え方

市長の政治姿勢について

集団的自衛権行使容認 の考え方

問 日本に対する武力攻撃がなくとも他国のために武力を行使するという集団的自衛権行使。これが容認されれば、海外で武力行使をしてはならないという憲法上の歯どめを外すことになる。そのようなことを一内閣の判断で憲法解釈を変えることは、立憲主義の否定にほかならないと考える。憲法尊重擁護義務を負う自治体の責任者として、市長はどう考えるか。

答 安全保障の問題は、国が果たすべき役割。国会において十分に議論され、国民に説明を尽くした上で適正な判断がなされるものとする。議会という公式の場で、大牟田市長としての意見を表明することはふさわしくないと考える。

消費税増税の 本市への影響

問 4月からの消費税増税による市民生活への影響はどうか。

答 消費者庁が4月上旬に行っている物価モニター調査からも、家計の先行きについては慎重な姿勢が見られる。まだ、実情をつかみ切れてないところもあり、引き続き市民生活への影響を注視しつつ、経済対策や臨時福祉給付金など国の施策に適切に対応しながら、市

民生活の安定に努めたい。

問 下がる年金、上がる国民健康保険税、高い介護保険料、光熱費の値上げ。こうした中での増税。とりわけ低所得者が多い本市では、市民生活の実態をしっかりと認識してほしい。国の施策を黙って粛々と遂行するのではなく、市民生活・営業をどう守るかという立場で、市長の仕事をしてほしい。今年10月に税率10%への増税の判断がされるが、市長はどう考えるか。

答 国税の税制は、国が果たすべき役割。市としては、国の議論、国会の議論を注視していきたい。

医療・介護総合法案 に対する考え方

問 上記の法案は、医療では病床削減と医療縮小、介護では要支援者の訪問・通所介護サービスを市町村事業に移行など、給付の削減が全面に出ており、医療・介護難民を生み出す恐れがある。この法案に対しての考えを聞きたい。

答 この法案は、効率的かつ質の高い医療提供体制や地域包括ケアシステムを構築することを通じて、地域における医療や介護の総合的な確保を推進するため、関係法の整備を行うもの。市としては、法案の審議状況を注視し、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進していきたい。

本市の医療と介護について

本市の介護における課題

問 本来、介護保険制度は、軽度のうちに専門的な介護・介助をして重度化を防ぐのが目的。介護保険から地域支援事業への移行は、状態悪化の恐れがある。法改正が市に与える影響、課題は。

答 29年度末までに要支援の訪問・通所介護を地域支援事業に移行。本年4月現在で、要支援1の人は1,271人、要支援2の人は930人、合計2,201人。地域の通いの場、生活支援サービスの確保など、受け皿づくりが早急に対応すべき課題。移行に伴って影響を受ける人数、必要なサービス量を抽出するために、給付状況の分析を始めている。また、介護サービス事業所、NPO法人、ボランティア団体へのアンケート調査を行うなど、サービス供給体制の現状と今後の見込みの把握に努める。

ボランティア等の担い手の育成、組織化も重要になってくると考え、関係部局や関係機関と連携し、サービスの確保を図っていく。



高齢者のひとり暮らし



暮らしやすく魅力ある 大牟田に



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

6月16日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
(1) 消費税引き上げによる市民生活への影響と対応
(2) 地域包括ケアシステムの構築
- 2 中心市街地活性化について
(1) 市民活動等多目的交流施設「えるる」の活用状況
(2) 新栄町駅前地区市街地再開発事業の進捗状況
- 3 住み続けたい魅力ある大牟田について
(1) 定住自立圏構想の取り組み
(2) 大牟田市の人口減少と歯どめ対策
(3) 女性の力を生かしたまちづくり再生
- 4 「域学連携」地域づくり活動の推進について
(1) 学生の力による地域の活性化
- 5 空き家・老朽危険家屋対策について
- 6 道の駅「おおむた」花ぶらす館の運営について

市長の政治姿勢について

消費税引き上げによる 市民生活への影響と対応

問 消費税引き上げから2カ月が過ぎた。市民生活への影響と対応を聞きたい。

答 増税からまだ2カ月という状況であり、実情をつかむには時間が不足している。

引き続き、市民生活への影響について注視し、経済対策や臨時福祉給付金など、国の施策に適切に対応しながら、市民生活の安定に努めていきたい。

地域包括ケア システムの構築

問 高齢化が進む中、医療、介護、予防、住まい、生活支援など、切れ目なく提供される体制、地域包括ケアシステムの構築が必要になる。地域包括ケアシステム構築に当たっての主な課題を聞きたい。

答 高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画においても、小学校区を日常生活圏域とする地域包括ケアシステムの推進に向けて取り組んでいる。

課題については、地域包括ケアシステムの中核を担う地域包括支援センターの充実、高齢者の自立支援を促す介護予防ケアマネジメントの強化、高齢者の高い医療ニーズに対応するための医療と介護

の連携、地域における見守り支援体制の構築、自立した生活のための住まいの確保などがある。

中心市街地活性化について

新栄町駅前地区市街地 再開発事業の進捗状況

問 上記事業に係る今後の課題と、課題に対する取り組みを聞きたい。

答 平成27年度は事業計画を、平成28年度は権利変換計画を権利者全員の同意を得ながら策定し、事業を推進される必要があるが、事業の成否を大きく左右する保留床処分の確実性等の課題がある。

今後も権利者が一致団結し、継続的に関係者の合意形成に努められるなど、着実に事業を推進されることが肝要であり、本市としても、関係機関と連携し、課題解決に向けて全力で取り組んでいく。

住み続けたい魅力ある 大牟田について

大牟田市の人口減少と 歯どめ対策

問 本市人口減少の歯止め対策は。

答 総合計画後期基本計画第2期実施計画に掲げている事業を着実に実施し、市民が安心・安全に生活できる環境を整え、産業振興などにより雇用を確保していくことが、本市における人口減少の歯止めになると考える。

「域学連携」地域づくり 活動の推進について

学生の力による 地域の活性化

問 学生の力による地域活性化について、市長の見解を聞きたい。

答 帝京大学の新学科開設により、将来的に1,500名近い学生が本市に集う。帝京大学・有明高専などの高等教育機関は貴重な地域資源であり、今後も連携を図りながら、将来の本市のまちづくりにつなげていきたい。



帝京大学 福岡キャンパス

空き家・老朽危険 家屋対策について

問 空き家の有効活用については。

答 以前の調査で、市内に2,853戸の戸建てを中心とした空き家があり、そのうち約1,000戸が現状のままか、小規模な改修で使用できる状態である。

居住支援協議会では、空き家を地域資源として有効に活用できるよう進めているが、活用には、所有者の理解と協力が不可欠であり、所有者向けに無料相談会を開催するなど、空き家の有効活用を進めたい。



島原市—三池港航路の利用拡大を図り存続を

自由民主党議員団 山口 雅弘 議員

6月16日 一問一答方式により質問

■ 1 島原市等との観光交流協定と島鉄高速船の存続について

島原市等との観光交流協定と島鉄高速船の存続について

問 島原市等との観光交流協定に至った経緯を聞きたい。

答 25年10月、経営難を理由に島原港—三池港間の旅客航路の廃止が報道され、これを契機に大牟田市、島原市並びに関係機関において、島鉄高速船の存続に関する協議を開始した。本市は、世界遺産

登録を目指しているさなかであり、島原市は、26年秋には長崎国体の開催も控えていることなどから、地域振興に必要であるという共通認識に至り、島鉄高速船を活用した観光交流促進に向けた取り組みを関係機関が一体となって取り組むこととした。

問 市民に対し、どのようなPR

を行っているのか。

答 報道機関などを通じて、島原市とのゆかりもきちんと説明し、存続の意義等のPRを行っている。

問 教育委員会として何か協力できる部分はあるのか。

答 修学旅行や遠足等については行っておらず、高速船乗船の後の交通手段も含め、検討したい。



平和は英知と努力で

自由民主党議員団 塚本 二作 議員

6月16日 一問一答方式により質問

- 1 集団的自衛権と国民保護計画について
- 2 (仮称)第5次総合計画策定について
- 3 力強く、かつ健全なる子供の育成について
 - (1) 全国学力調査結果の公表と教育長の見解
 - (2) (漫画)はだしのゲンの認識
- 4 焼石山の産廃処理施設の現況と行政の責任について

集団的自衛権と国民保護計画について

問 市長は戦後、今日まで平和が維持できた理由はどこにあると思うか。

答 憲法のもと、全ての国民が平和を希求する精神を一貫して持ち続け、国際協力、平和政策とともに歩んできた。さらに日米安保条約による抑止力の効果、国際協調

に基づく平和外交及び経済力の増進など、総合的な国力向上によって平和が維持できたと考える。

全国学力調査結果の公表と教育長の見解

問 結果の公表ができるようになったが、その検討状況はどうか。

答 県の動向を注視しつつ、公表方法や内容について検討する。

焼石山の産廃処理施設の現況と行政の責任について

問 上記施設は早期に行政代執行を検討すべきと思うがどうか。

答 本来、事業者が行うべき整地及び覆土を行政が代執行する状況にはないと考える。

しかし、何らか別の法的手段がとれないか検討し、問題解決に努めたい。



スポーツを通して市民の健康づくりを

自由民主党議員団 光田 茂 議員

6月16日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) (仮称)総合体育館建設
- 2 スポーツ施設的环境整備 (3) スポーツを通した市民の健康づくり
- 2 学力向上への取り組みについて (1) 個に応じた指導の充実
- 2 小中連携による指導の充実
- 3 教育現場の現状と今後の方針について
- 3 (1) 小学生の学習態度悪化の状況とその対応 (2) 学校給食費の未納対策
- 4 わくわくシティ基金の活用について

スポーツを通した市民の健康づくり

問 医療・介護を利用しない元気な高齢者の励みとなる取り組みや、各種保険料抑制となるような独自事業を行ってはどうか。

答 健康づくりを率先して行っている方を広く紹介するなど、健康な市民が自信と誇りを持ち、励みとなる取り組みを検討したい。

小学生の学習態度悪化の状況とその対応

問 授業中に自席を立ったり、先生に対する暴言等があると聞かすが、実態と対応について聞きたい。

答 ごく一部だが報告がある。総合的な規範意識や倫理観の低下が指摘されており、子供と教師及び保護者間の信頼関係を築き、学校・家庭・地域の連携を深めたい。

わくわくシティ基金の活用について

問 基金を一定額戻し、緊急なスポーツや文化の振興にも利用できるよう積み立てるべきではないか。

答 スポーツ・文化施設の改修に活用した経過もあり、文化芸術振興プラン推進の観点と緊急的な事業への対応も含め、総合的に検討していく必要がある。



魅力ある政策で シティセールスを

自由民主党議員団 田中 正繁 議員

6月17日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 シティセールスにおける魅力ある政策について
- 2 健康づくりと介護予防について
 - (1) 2025年問題への対応 (2) 地域における健康づくりの取り組み
- 3 市長の政治姿勢について
 - (1) まちづくり基本条例と地域コミュニティの推進
 - (2) 近代化産業遺産への今後の取り組み (3)(仮称)第5次総合計画の策定

シティセールスにおける 魅力ある政策について

問 子育て世帯の経済的負担の軽減はどのように考えているのか。

答 子供の入院費の助成拡大など経済的負担の軽減等に取り組む。

市長の政治姿勢について

問 市民憲章の浸透後にまちづく

り基本条例を制定してはどうか。

答 市民憲章に掲げる目標を踏まえ、条例制定の取り組みを推進することで、協働のまちづくりが一層加速され则认为。

問 次期総合計画期間の考え方は。

答 市政公約を反映し、優先的・重点的に取り組む施策や事業を明確化させるよう4年間とした。

健康づくりと 介護予防について

問 10年後の医療・介護・福祉サービスを見据えての今後の対応は。

答 日常生活圏域で、医療・介護・予防・住まい・生活支援を、利用者の状況に応じて提供される地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。団塊世代の方々にも積極的な参加を期待している。



空き家・空き地 対策の推進を

社民・民主・護憲クラブ 森田 義孝 議員

6月17日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢とまちづくりについて
 - (1) 平成26年度重点施策の展開と今後のまちづくり (2) 地域コミュニティの形成と校区まちづくり協議会 (3) 木造戸建て住宅耐震改修促進事業
- 2 空き家・空き地対策について
 - (1) 空き家対策の現状と課題 (2) 空き地対策の現状と課題
- 3 市民生活の利便性向上に向けた公共交通の整備について
- 4 小学校給食調理室のエアコン設置について

空き家・空き地 対策について

問 空き家を放置しておくと、建物の倒壊や事故、火災、環境上の問題などから、対策の実行が必要である。そこで、本市の空き家対策について聞きたい。

答 対応に苦慮しており、今後、制定される予定の法令に基づき、空き家対策に取り組むたい。

問 空き地の雑草は、草刈り条例（通称）で対応されているが、樹木関係は対応できていない状況にある。

空き地における樹木の対応について聞きたい。

答 樹木関係は、民法等で財産権があるものもあり、草刈り条例の対象ではなく、所有者への相談をお願いしている。

市民生活の利便性向上に向けた 公共交通の整備について

問 市民生活の利便性の向上と暮らしに便利な公共交通の整備に向けた今後の方向性を聞きたい。

答 今後、国の交通政策基本計画策定の状況にも注視をしながら、引き続き、公共交通事業者との連携強化を図り、市民の利便性確保に努めていきたい。



絵本を通じて得られる 経験や共感を親子で

公明党議員団 今村 智津子 議員

6月17日 一問一答方式により質問

- 1 文化芸術振興について (1) 心を育てる文化芸術活動の推進
- (2) 母子に絵本を贈る・ブックスタート事業
- 2 絵本による地域の活性化について
 - (1) (仮称) まちなか絵本ギャラリー
- 3 世界遺産登録について (1) 市民の意識啓発と機運の盛り上がり
- (2) 積極的な情報発信と案内対応
- 4 公共施設の維持管理について (1) 公共施設の管理と活用
- (2) 母子生活支援施設跡地の利活用

母子に絵本を贈る・ ブックスタート事業

問 市長は3月の定例会において、ブックスタート事業は必要であり、検討すると答えたが、その決断を聞きたい。

答 同事業は、一人一人の赤ちゃんに絵本を開く楽しい体験をしてもらい、あわせて絵本を手渡す事業であり、大変有意義な取り組み

であるとする。事業をスタートするにあたり、課題整理等を関係部署に指示している。

絵本による地域の 活性化について

問 郷土を代表する絵本作家、内田麟太郎さんは、自分の育った大牟田に（仮称）まちなか絵本ギャラリー構想を持たれている。

商工会議所が主体であるが、推進の後押しと財政の支援を強く要望したいが、市としてどのように捉え、どう支援するのか。

答 中心市街地の活性化、文化芸術、次世代育成などのさまざまな観点から、まちづくりに寄与する事業であることから、関係機関と協力し、商工会議所の事業に対し支援を行っていきたい。



全国の子供たちを 大牟田へ

無所属 吉田 康孝 議員

6月17日 再質問からの一問一答方式により質問

■1 大牟田のまちづくりについて

- (1) 市民協働による高齢者を生かした活躍の場の充実
- (2) 高齢者と子供たちの交流を通じた地域づくり

■2 里山保全について

- (1) 里山保全における市民協働の推進による仕組みづくり

高齢者と子供たちの交流 を通じた地域づくり

問 全国の子供たちに、本市への社会科見学や修学旅行をセールスすることで、まちづくりにつながると思うが。

答 民家に宿泊する体験型観光が注目されており、修学旅行生を対象とした体験型プログラムの企画について調査、検討を行っている。

問 地域と学校との協働により、休耕田や竹林等の整備などを学校の授業として取り組めないか。

答 学校の授業として、地域の協力を得ながら、休耕田等を活用した米づくり、近隣の竹林でのタケノコ狩りなどを行っている。

地域の方々とのつながりが、郷土愛やまちづくりへの参画意識を高めていくと考えている。

里山保全における市民協働 の推進による仕組みづくり

問 荒廃していく里山保全について、市民と行政との協働で取り組むことはできないか。

答 三池山は市民に愛される山であり、整備の必要性は感じている。今後、ボランティア団体やNPO法人の方への支援について考えていかなければならないと思う。

トピックス

6月第二日曜日は「花の日」

高取聖マリア幼稚園から、キリスト教では6月第二日曜日が花の日とされているとして、議会に花が贈られました。園児の笑顔が印象的でした。



永年勤続表彰伝達式

5月28日の全国市議会議長会第90回定期総会において、3人の議員が永年勤続表彰を受け、その表彰伝達式を6月9日に議場で行いました。

■表彰議員

(議員として15年以上)
高口講治議員
吉田康孝議員
松尾哲也議員

(左から) 三宅智加子副議長
吉田康孝議員、高口講治議員
松尾哲也議員、西山照清議長



議会日誌 (4月～6月)

- 【4月】 11日 都市環境経済委員会
14日 議会改革特別委員会
16日 議会報編集委員会
25日 市民教育厚生委員会
30日 各派代表者会、議会運営委員会
- 【5月】 15日 都市環境経済委員会、議会改革特別委員会、総務委員会
16日 市民教育厚生委員会
- 【6月】 2日 各派代表者会、議会運営委員会
4日 総務委員会
5日 市民教育厚生委員会
6日 都市環境経済委員会、議会改革特別委員会
9日 第1回定例会本会議〔開会〕、議会報編集委員会
13日 第1回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
16日 第1回定例会本会議〔質疑質問〕
17日 第1回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
18日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
20日 各派代表者会、議会運営委員会、第1回定例会本会議〔採決、閉会〕、議会報編集委員会

行政視察受入(4月～6月)

月	日	都道府県	団体名	視 察 項 目
4	17	福岡県	北九州市議会	高齢者支援計画
	18	埼玉県	川口市議会	次世代エネルギーパーク
5	7	群馬県	安中市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	14	東京都	昭島市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	22	京都府	舞鶴市議会	三池港を活かした経済の活性化
	27	静岡県	三島市議会	ごみの有料化
6	28	静岡県	富士市議会	ゼロエミッション、大牟田エコタウン推進事業
	3	東京都	北区議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	27	福岡県	田川市議会	三池炭鉱関連施設

インフォメーション

■次の定例会は9月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

■インターネット議会中継

パソコン等でインターネットがご利用できる場合は、大牟田市トップページの右側の列「大牟田市議会」の下「議会中継はこちら」からご覧ください。生中継の他に、平成21年5月臨時会以降であれば、過去の録画も視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。9月上旬から閲覧できます。ホームページでも9月上旬から閲覧・検索できます。



くろ さき

◆黒崎のクスノキ (大字岬)

濃い緑が煙る黒崎公園の玉垂神社にひっそりと、でも堂々と立つクスノキ。幹に近づくと、参加者から「はあー」と静かな溜息がもれた。樹齢は300年以上と推定。



かみ うち

◆上内のイチイガシ (大字上内)

ブナ科の常緑高木。どんぐりの木としても親しまれる。ここのイチイガシは、幹の模様が美しく、木の勢いがよいのが魅力。木の高さは、25メートルを超える。樹齢は200年以上と推定。上内八幡宮内。

巨木は語る

連載
おおむた自慢

おおむたには、樹齢数百年を超える巨木がたくさんあります。数百年のときを超えて、今も私たちを静かに見守り続けています。今回は、「巨木ツアー」(主催：大牟田市、協力：大牟田生物愛好会)に同行し、取材しました。それぞれの木が、長い年月を生き抜いてきた風格があり、じっと耳をすますと、300年の歴史を静かに語りかけてきます。あなたのお気に入りの巨木をみつけてみませんか。



し だいまる

◆四大丸のイチョウ (大字教楽来)

遠くから眺めても存在感がある。市内のイチョウのなかでも最大級。正往寺の境内にそびえたつ。お寺の屋根とのコントラストが、このイチョウの悠々とした姿を際立たせる。「堂々と生きていけ」と言っているかのよう。樹齢は300年以上と推定。秋の紅葉の時期は、特に見応えあり。

つち あな

◆土穴のエノキ (大字櫟野)

里山の石垣の丘にたつこのエノキは、形状がみごと。苔むした幹、伸び伸びと広がる枝葉には、めずらしいイチョウや虫、鳥がたくさん集まっている。

樹齢300年以上と推定。「土穴」の名前は、櫟野の北部山麓に奥深い穴があったのが由来といわれている。



いま やま

◆今山のガリュウバイ (大字今山)

近づくと梅の香がぶーんと漂う。大きな梅がなっており、花の季節とはまた違った顔に会えた。樹齢450年以上と推定。普光寺内。

母樹から古幹が這い全長24メートルに及び17株の叢(そう)が連なる。

緑のカーテンを
つくっている
吉野小学校
緑化委員会

